

信州大学医学部附属病院で免疫チェックポイント阻害薬による
治療を受けた患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「AI 胸部 X 線解析による免疫チェックポイント阻害薬関連肺臓炎リスクスコアの臨床実装」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	AI 胸部 X 線解析による免疫チェックポイント阻害薬関連肺臓炎リスクスコアの臨床実装
所属(診療科等)	内科学第一教室 他
研究責任者(職名)	荒木 太亮(助教)
研究実施期間	医学部長による許可日～2031年3月31日
研究の意義、目的	本研究は、胸部単純 X 線写真から線維化を伴う間質性肺疾患(interstitial lung disease: ILD)の検出を支援する AI ソフトウェアである「BMAX」を用いて、免疫チェックポイント阻害薬肺臓炎の発症予測における有用性を検討することを目的とします。
対象となる方	2014年4月1日から2025年12月31日の期間に当院で免疫チェックポイント阻害薬の治療を受けた患者様。
利用する診療記録	患者背景、臨床検査値、放射線学的情報、臨床経過・転帰に関する情報を電子カルテから収集します。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、免疫チェックポイント阻害薬関連肺臓炎発症リスクとの関連を多面的に評価します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 荒木太亮(内科学第一教室/総合内科医育成学講座・助教) 電話: 0263-37-2631

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。